

(別紙様式)

都道府県番号	8
都道府県名	茨城県

()

学校名及び規模

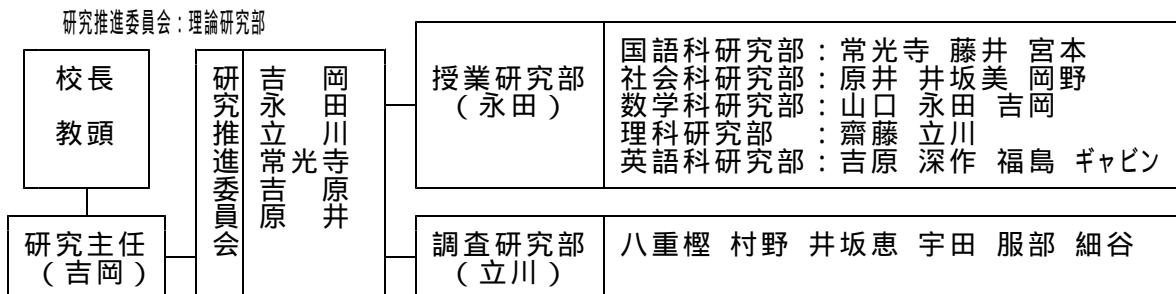
新治村立新治中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	22
生徒数	94	97	91	1	283	

実践研究の概要(主題(テーマ)及び設定の趣旨)

<p>・主題(テーマ) 一人一人の学習意欲を高め、基礎・基本を身に付けさせ、「確かな学力」の定着を図る学習指導法の研究 ～ 習熟度別指導、少人数指導、チーム・ティーチングを通して ～</p> <p>・テーマ設定の趣旨 一人一人の学習意欲を高め、基礎・基本を身に付けるための学習指導法の工夫や改善を行い、「確かな学力」の定着を図る。</p>

実践研究の内容について

() 研究体制の工夫



() 実践研究の内容

理論研究

「基礎・基本」の明確化

本校における各教科の「基礎・基本」の基本的な考え方として、学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容を「基礎・基本」とする。

「確かな学力」の明確化

知識・理解・技能(はかることのできる学力)
思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力(はかることが難しい学力)
関心・意欲(はかることができない学力)

この3つの学力を総括したものを「確かな学力」とした。

調査研究

知識や技能を主とした学力の把握

- ・1学年，2学年・・・9月，1月の実力テストの実施
- ・3学年・・・7月，12月の実力テストの実施
- ・実施教科：国語 社会 数学 理科 英語の5教科

情意面（学習意欲）の把握

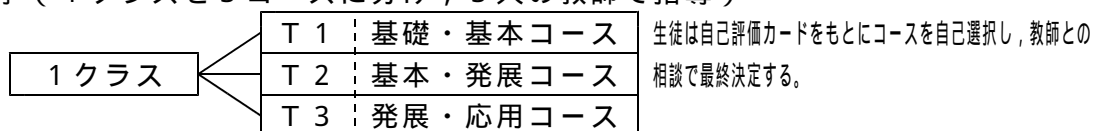
- ・生徒向けアンケート（意識調査）の実施
- ・家庭学習実施時間の調査（7月，12月）
- ・学習に対する意識調査
- ・習熟度別学習，少人数学習，チーム・ティーチングによる学習の意識調査

学習指導研究（実践研究）

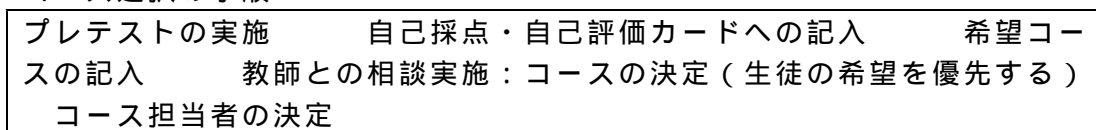
学習形態の工夫（習熟度別指導，少人数指導，チーム・ティーチング等）

【習熟度別指導の実施】

数学（1クラスを3コースに分け，3人の教師で指導）

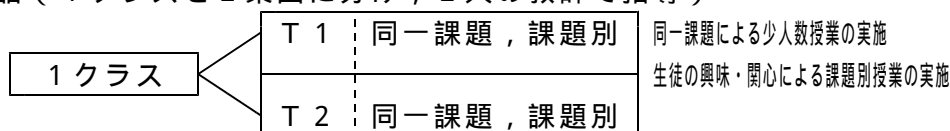


コース選択の手順



【少人数指導の実施】

国語（1クラスを2集団に分け，2人の教師で指導）

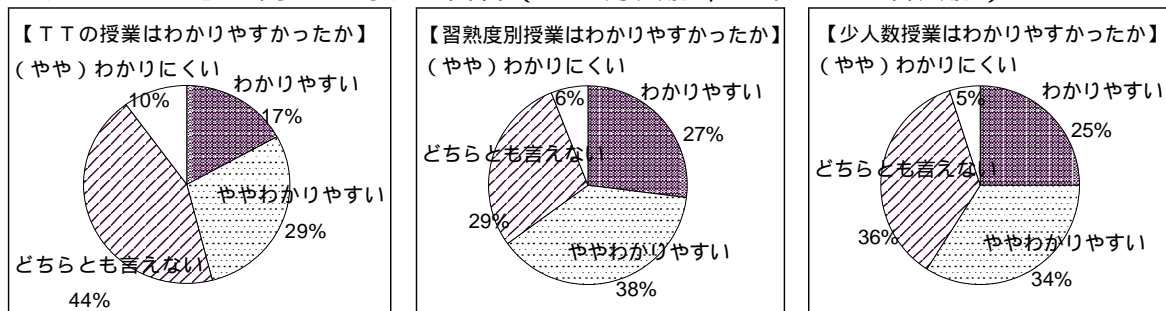


（ ） 成果と課題

多様な学習形態（習熟度別指導，少人数指導，チーム・ティーチング）を取り入れたことによって，個に応じた指導ができ基礎・基本の定着が図れた。

学習内容や学習形態を工夫したことにより，個に応じた指導が可能となり，一人一人が生き生きと活動しながら基礎・基本を確実に身に付けることができるようになった。

「チーム・ティーチングの授業，習熟度別授業，少人数授業での学習がわかりやすかったか」の問いに対する回答（12月実施，2年生97名実施）



習熟度別授業，少人数授業は，約60%から65%の生徒が「わかりやすい，ややわかりやすい」と回答している。一人一人のニーズに応えた授業を実践してきたからではないかと考えられる。

実力テストの分析から

実力テストの種類及び実施期日

ベネッセ標準実力テスト

1学年，2学年・・・ 第1回目 H14年9月10日，第2回目 H15年1月10日

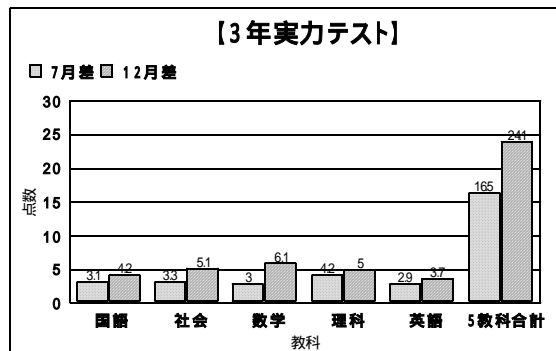
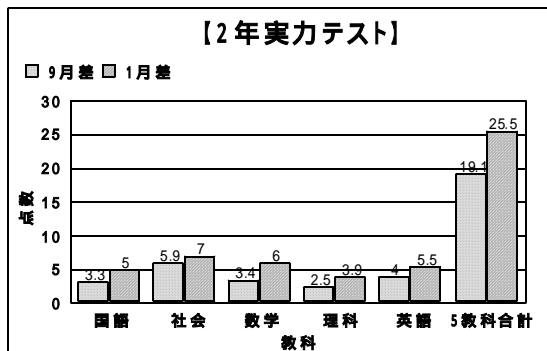
実施学年

1 学年 (9 5 名) 2 学年 (9 7 名) , 3 学年 (9 1 名)

分析方法

茨城県平均と本校 (1 , 2 年) の平均 , 全国平均と本校 (3 年) の平均を比較することによって学力の向上を見る。

結果及び分析



2 学年 , 3 学年において各教科 , 5 教科合計の平均差を分析してみると , 7 月 , 9 月に比べて 1 2 月 , 1 月実施の方が , 県・全国との平均差の上昇が見られた。尚 , 1 学年については , 2 月末までに分析結果を完成させる予定である。

課題

「確かな学力」の定着のためのより効果的な習熟度別指導 , 少人数指導 , ティーム・ティーチングの在り方

発展的な学習や深化・補足的な学習など , 個に応じた指導のための教材開発

() 成果の普及方策

研究発表会の実施 (平成 1 4 年度・1 5 年度・1 6 年度)

ホームページでの公開 (平成 1 5 年度・1 6 年度)

新治中学校ホームページ <http://www.hidecnet.ne.jp/^nihari/>

() その他

選択教科における補充としての「基礎・基本定着の時間」の設置

実施時間 : 1 年 3 0 時間 , 2 年 5 0 時間 , 3 年 7 0 時間実施

各教科 4 ~ 5 つのコースを設定し , 生徒の意志によるコース選択をする。生徒が自分に不足している力やより伸ばしたい力を意識して , コースを選択し学習する

指導者 : 教科担当者 , 学年の教師が指導

学習相談の実施 (中間・期末テスト・夏休み 1 0 日間)

中間・期末テスト前の学習相談

・実施日数及び時間 : 3 日間 , 放課後 1 時間実施

・指導者 : 学年の教師 , 教科担当者が中心となり指導

夏休みの学習相談

・実施日数及び時間 : 1 0 日間 1 日あたり 2 時間 ~ 3 時間実施

・指導者 : 学年の教師 , 教科担当者が中心となり指導

家庭学習の充実 (スタディタイムの設置)

名称 : 新治中スタディタイム

内容 : 毎日 2 時間の家庭学習の実施

家庭学習計画表を作成させ学級担任が援助指導する。

保護者の協力（子どもが学習できる環境作り）を得る。